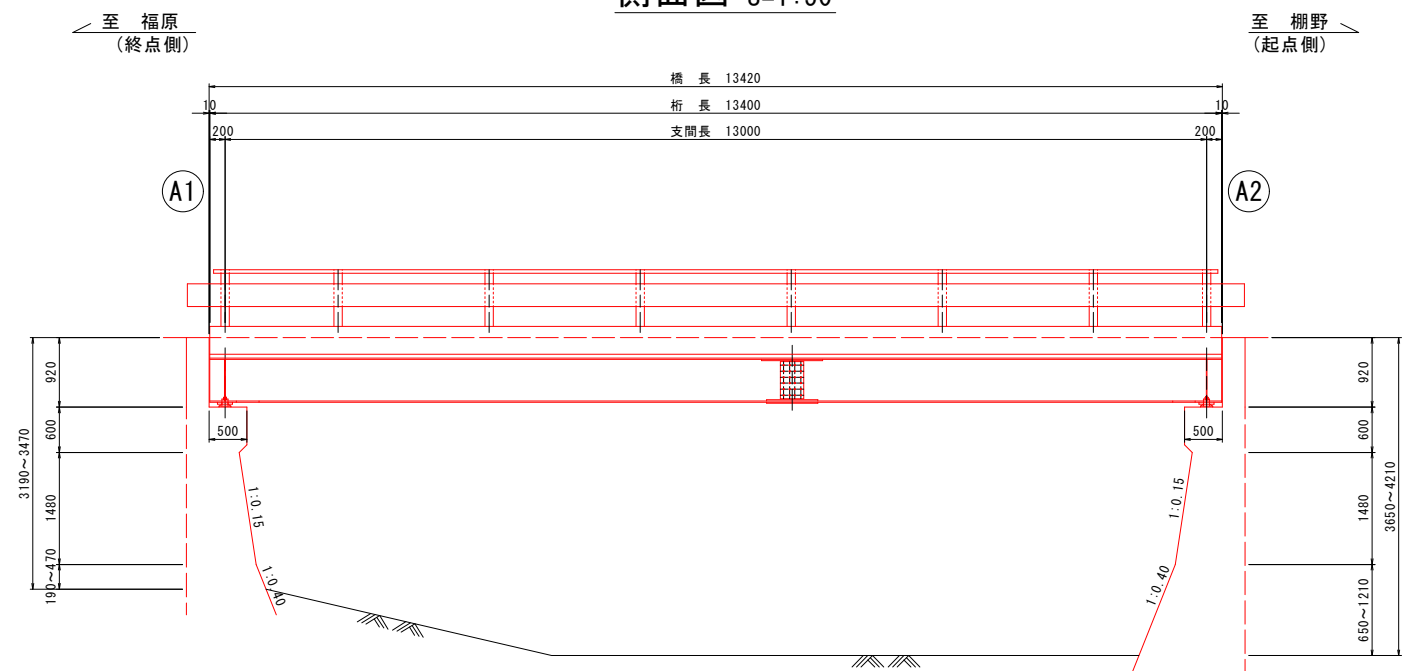
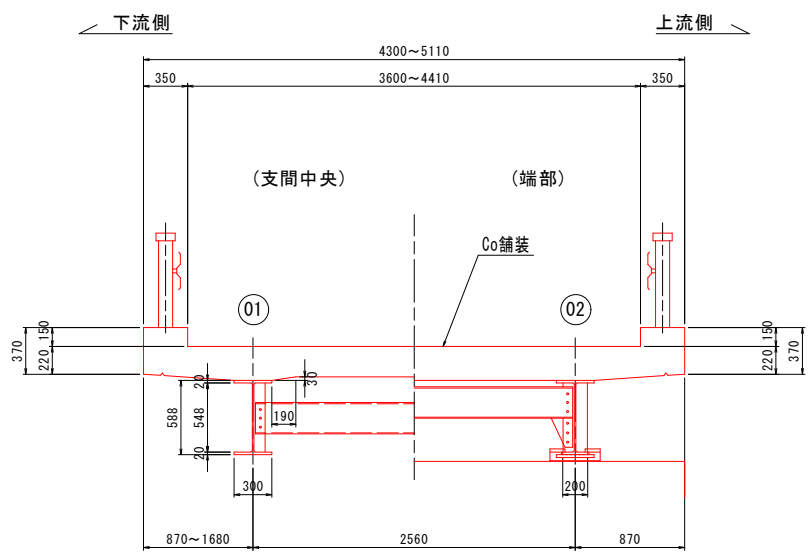


現橋一般図

側面図 S=1:50

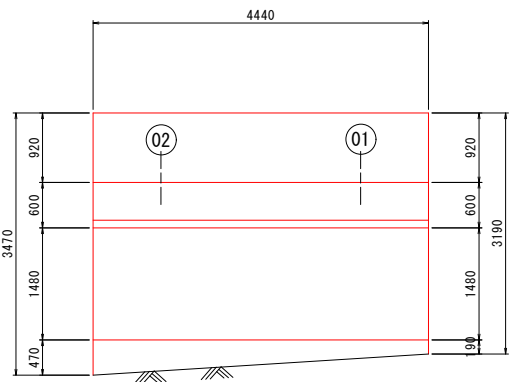


断面図 S=1:30

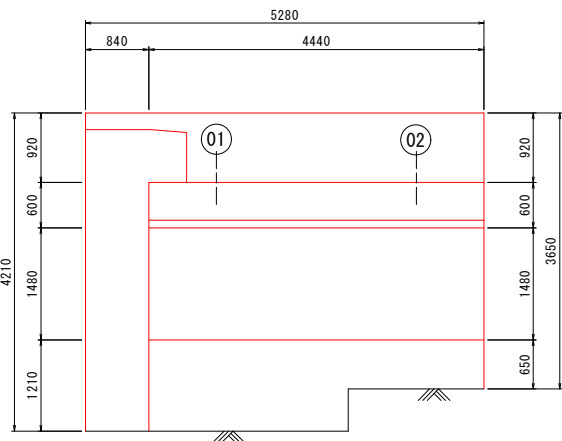


橋台構造図 S=1:50

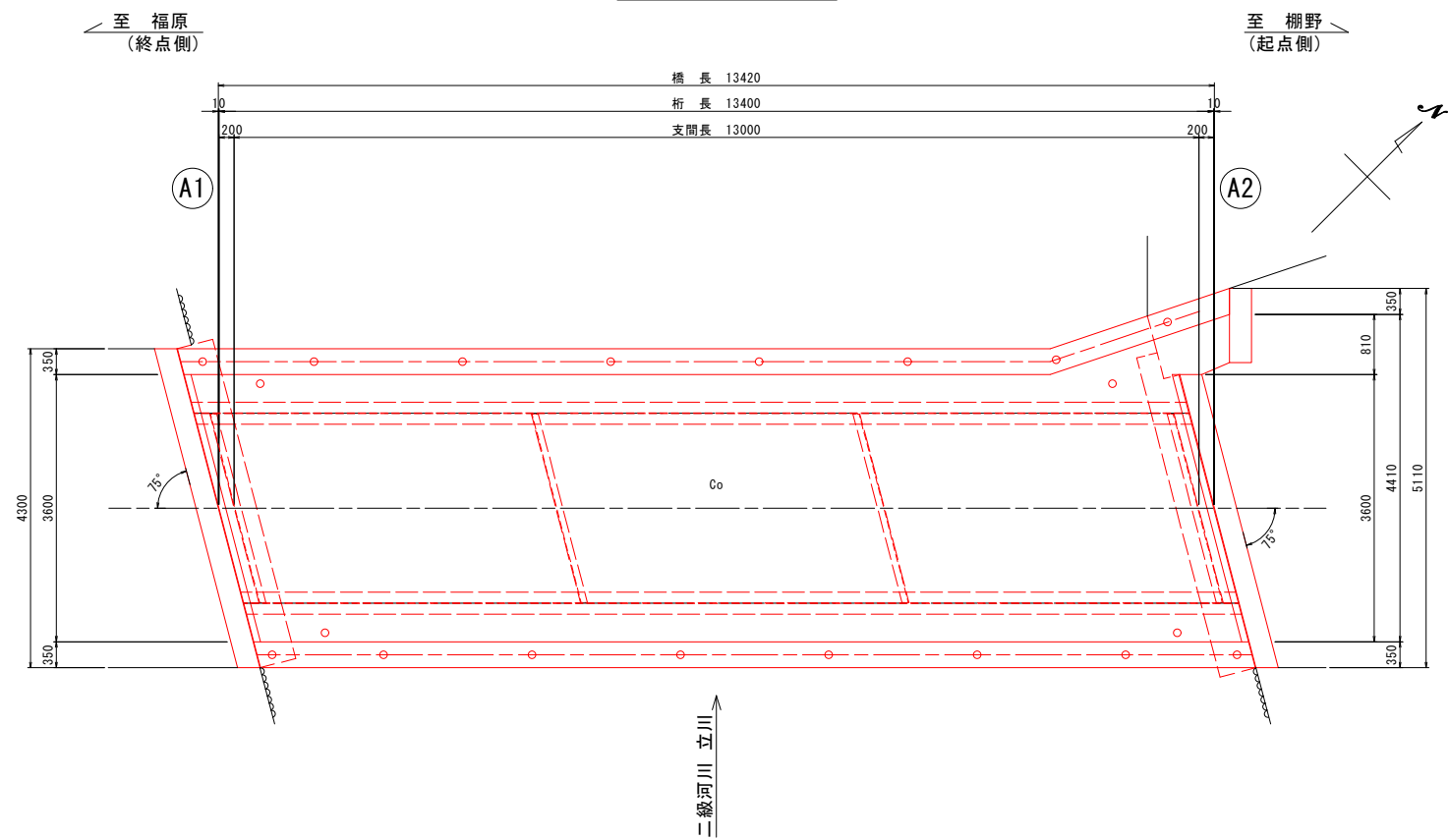
A1橋台正面



A2橋台正面



平面図 S=1:50



橋梁諸元

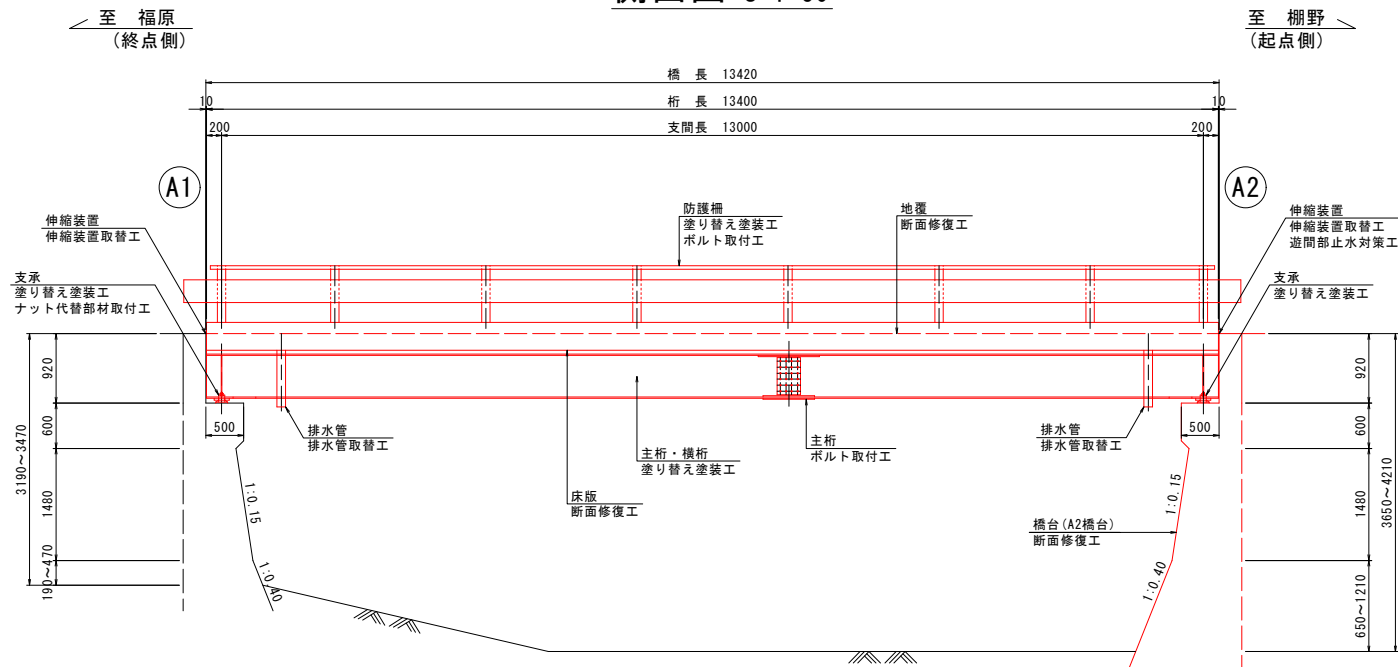
項目	内容
橋 梁 名	立川柳小屋橋
路 線 名	棚野立川線
橋梁形式	上部工 単純支持鋼H桁橋
	下部工 重力式橋台
	基礎工 不明
設計荷重	不明
橋 長	13.420m
桁 長	13.400m
支 間 長	13.000m
幅員構成	0.350m+3.600m~4.410m+0.350m
斜角	$\theta=75^\circ$
舗 装	コンクリート舗装
竣 工 年	不明
適用示方書	不明
添 架 物	無し
交差物件	河川 二級河川 立川

実施設計図面

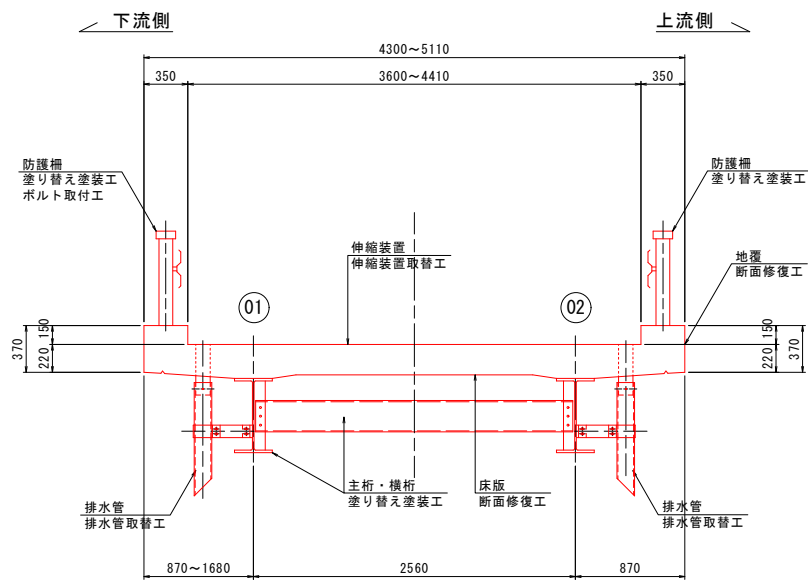
立川柳小屋橋			
工 事 名	令和8年度立川柳小屋橋橋梁修繕工事		
路線名等	勝浦郡勝浦町大字棚野他		
工事箇所	立川柳小屋橋		
図 面 名	現橋一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	1 / 14
会 社 名			
事業者名	勝浦町建設課		

補修計画一般図

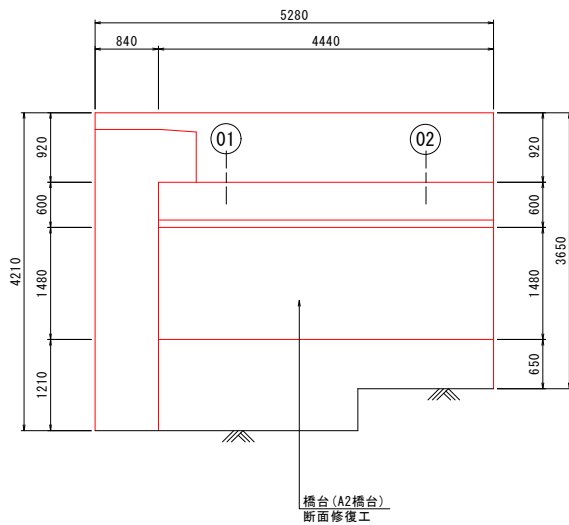
側面図 S=1:50



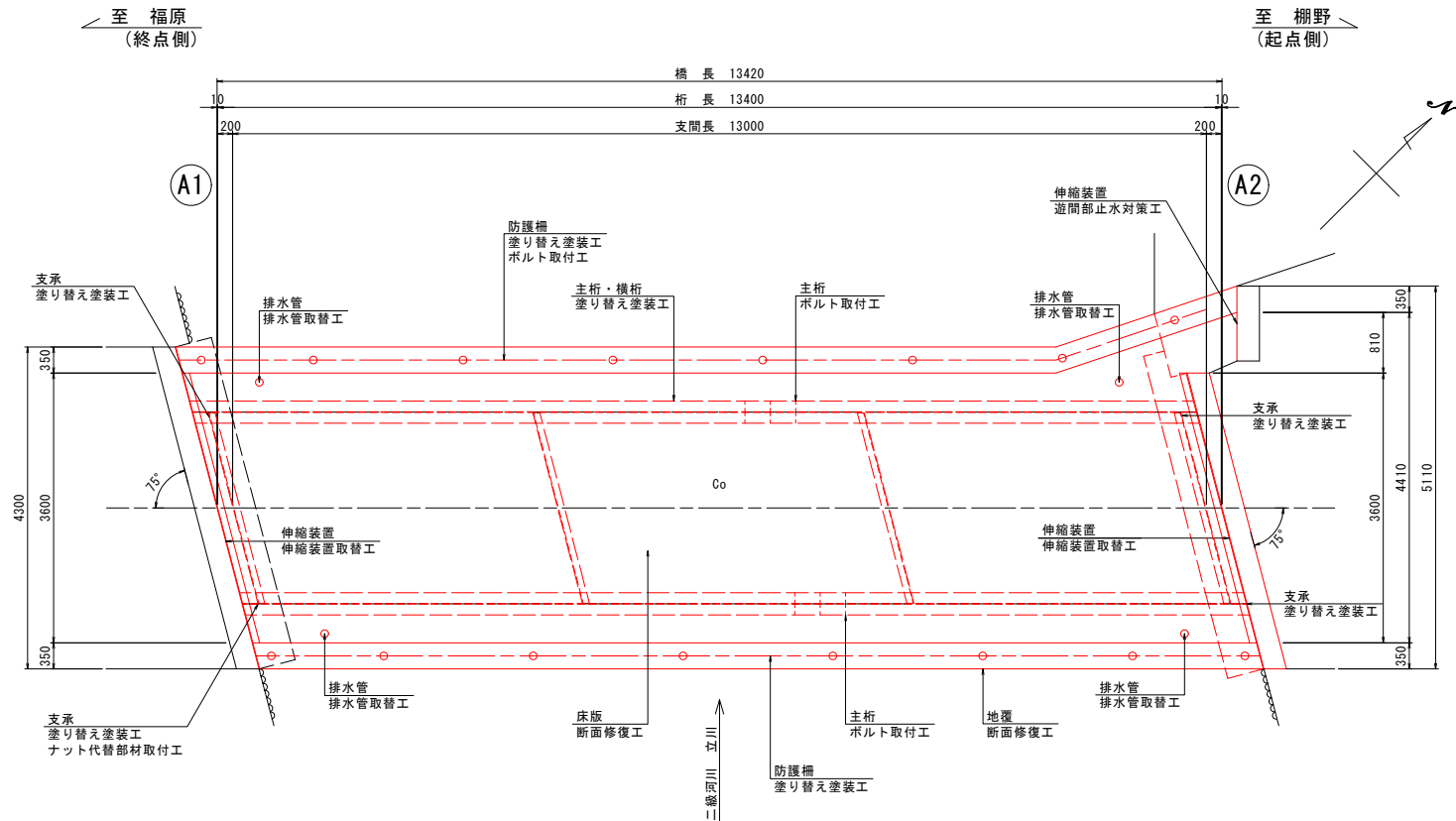
断面図 S=1:30



A2橋台正面図 S=1:50



平面図 S=1:50



補修工法一覧			
部材	損傷状況	補修工法	備考
主桁・横桁	腐食・防食機能の劣化	塗り替え塗装工	Rc-I 塗装系、塗膜剥離剤+1種ケレン
	ボルト脱落	ボルト取付工	S10T相当、M22
床版	うき、剥離、鉄筋露出	断面修復工	左官工法
橋台 (A2橋台)	うき、鉄筋露出	断面修復工	左官工法
支承	腐食	塗り替え塗装工	Rc-I 塗装系、塗膜剥離剤+1種ケレン
	ナット喪失	ナット代替部材取付工	加工鋼板部材設置
伸縮装置	漏水	伸縮装置取替工、遊間部止水対策工	既製鋼製ジョイント：プロフジョイントCDx型同等品、シール材注入
排水管	腐食・欠損	排水管取替工	VP管
地覆	うき	断面修復工	左官工法
防護柵	腐食	塗り替え塗装工	道路付属構造物塗装工
	ボルト脱落	ボルト取付工	BN-M20x160 (1W付)

既設橋梁条件	
橋梁名	立川柳小屋橋
路線名	棚野立川線
上部工形式	単純支持鋼桁橋
下部工形式	重力式橋台
基礎形式	不明
設計荷重	不明
橋長	13.420m
桁長	13.400m
支間長	13.000m
幅員構成	0.350m+3.600m~4.410m+0.350m
曲線	R=∞ 直線
斜角	θ=75°
舗装	コンクリート舗装
竣工年	不明
適用示方書	不明

河川条件	
河川名	二級河川 勝浦川水系 立川
計画高流量	—
管理者	徳島県

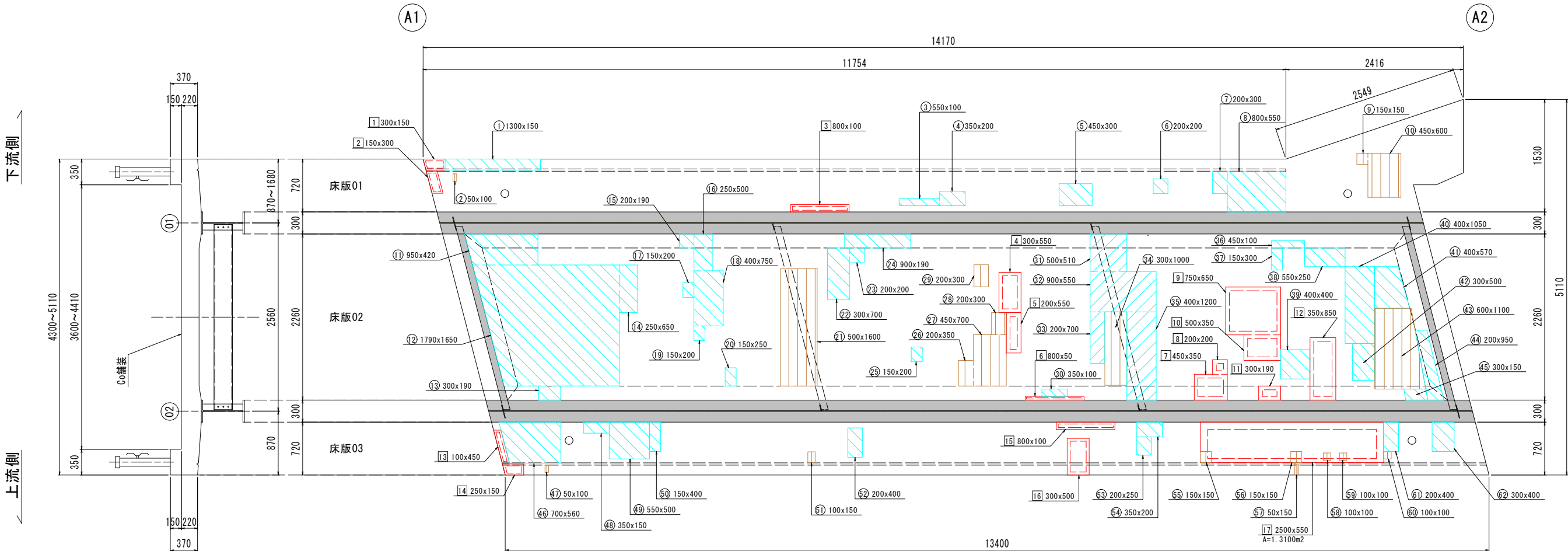
実施設計図面

立川柳小屋橋	
工事名	令和8年度立川柳小屋橋橋梁補修工事
路線名等	勝浦郡勝浦町大字棚野他
工事箇所	立川柳小屋橋
図面名	補修計画一般図
縮尺	図示
図面番号	2 / 14
会社名	
事業者名	勝浦町建設課

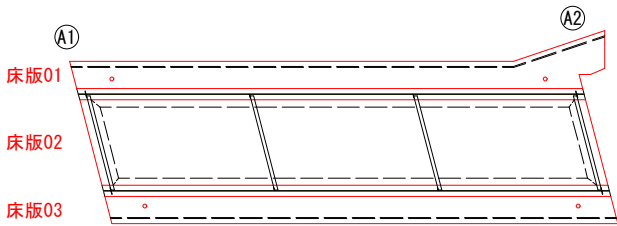
補修詳細図(1/10)
(断面修復工)

補修工法	表示	備考
断面修復工(左官工法)防錆処理:有	縦×横 (mm)(mm)	鉄筋露出
断面修復工(左官工法)防錆処理:有	縦×横 (mm)(mm)	うき
断面修復工(左官工法)防錆処理:無	縦×横 (mm)(mm)	剥離

床版下面 S=1:30



配置図



実施設計図面

工事名	令和8年度立川柳小屋橋橋梁修繕工事		
路線名等	勝浦郡勝浦町大字棚野他		
工事箇所	立川柳小屋橋		
図面名	補修詳細図(1/10)		
縮尺	図示	図面番号	3 / 14
会社名			
事業者名	勝浦町建設課		

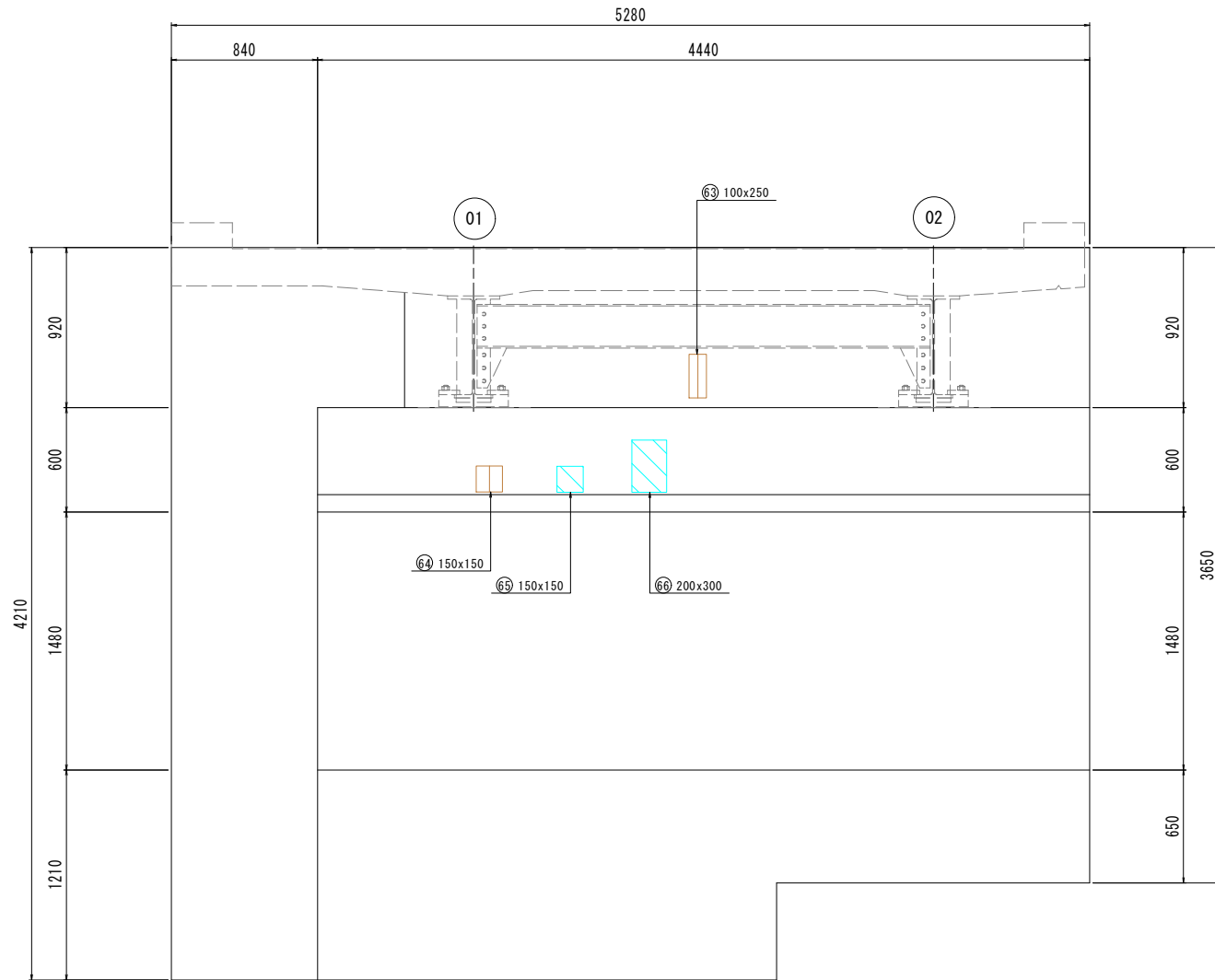
補修詳細図(2/10)

(断面修復工)

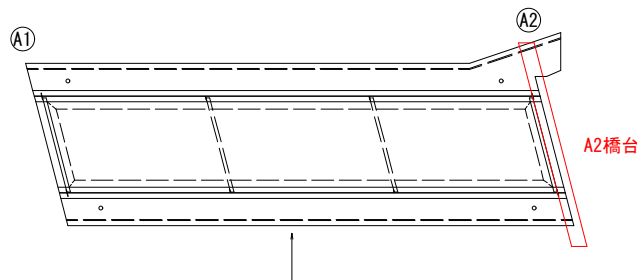
A2橋台正面図 S=1:20

補修凡例

補修工法	表 示	備 考
断面修復工(左官工法)防錆処理:有	 縦×横 (mm) (mm)	鉄筋露出
	 縦×横 (mm) (mm)	うき



配置図



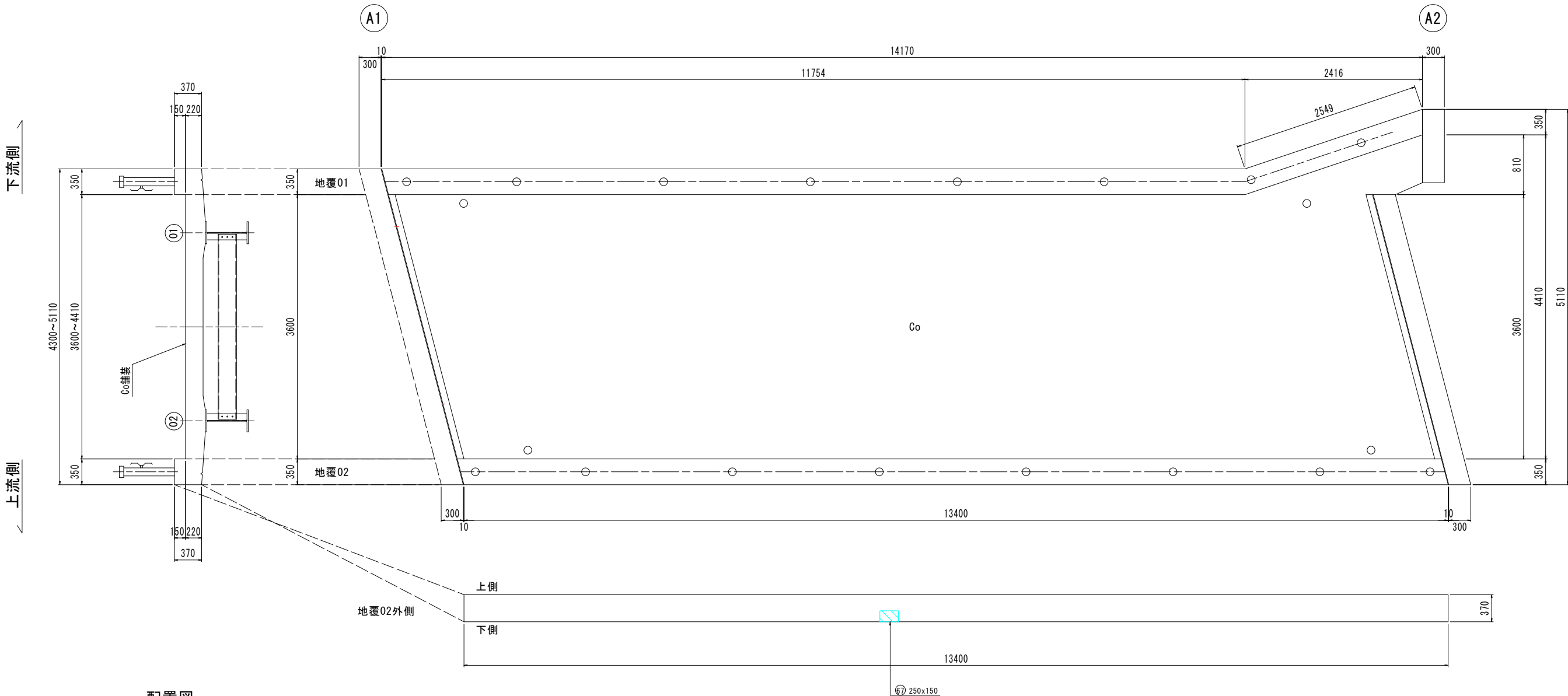
実施設計図面

立川柳小屋橋			
工 事 名	令和8年度立川柳小屋橋橋梁修繕工事		
路線名等	勝浦郡勝浦町大字棚野他		
工事箇所	立川柳小屋橋		
図 面 名	補修詳細図(2/10)		
縮 尺	図 示	図面番号	4 / 14
会 社 名			
事業者名	勝浦町建設課		

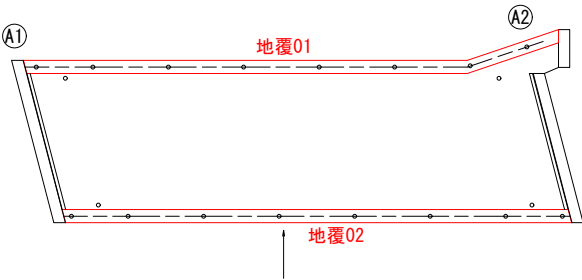
補修詳細図(3/10)
(断面修復工)

橋面・地覆展開図 S=1:30

補修凡例			
補修工法	表示	備 考	
断面修復工(左官工法)防錆処理:有	 縦×横 (mm) (mm)	うき	



配置図



実施設計図面

立川柳小屋橋			
工 事 名	令和8年度立川柳小屋橋橋梁修繕工事		
路線名等	勝浦郡勝浦町大字棚野他		
工事箇所	立川柳小屋橋		
図 面 名	補修詳細図(3/10)		
縮 尺	図 示	図面番号	5 / 14
会 社 名			
事業者名	勝浦町建設課		

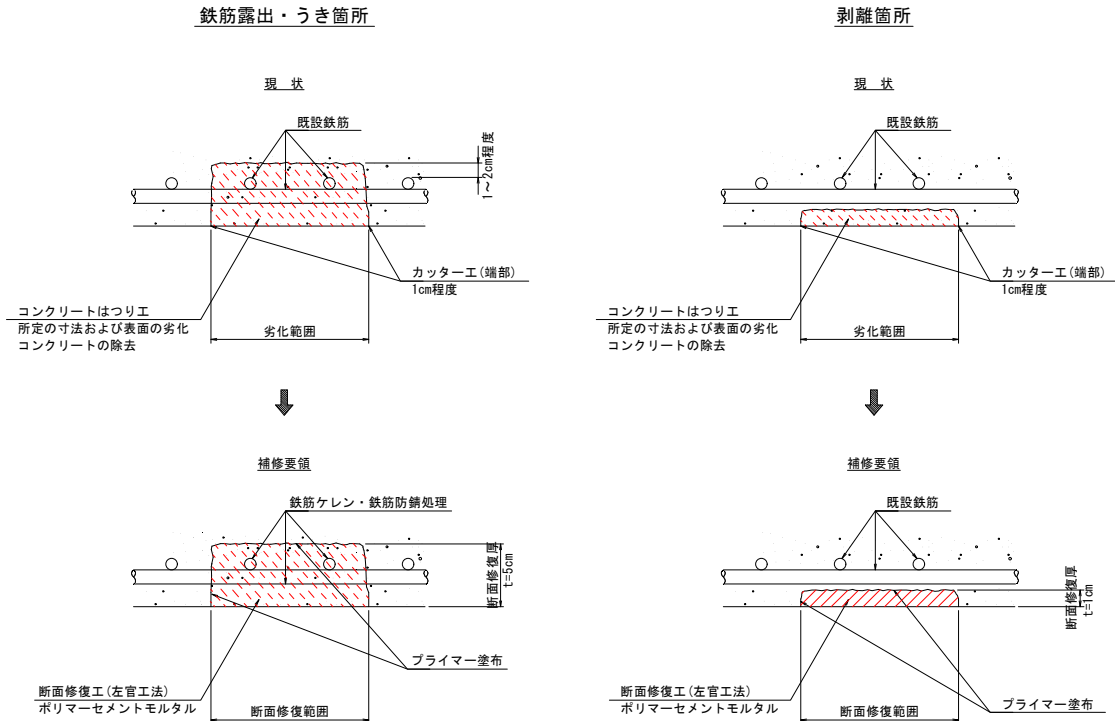
補修詳細図(4/10)

(断面修復工)

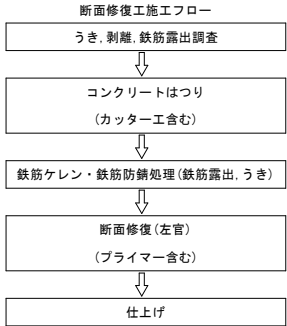
補修工法詳細図

断面修復工(左官工法)詳細図

既設コンクリート断面欠損部



※うき・鉄筋露出の断面修復厚
断面修復厚=かぶり15~20mm程度+鉄筋径16mm程度+背面10~20mm程度と想定。
断面修復厚さを50mmとする。



- ※ 断面修復工
- ・劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷を与えないよう周囲に深さ1cm程度コンクリートカッターにより切断目地を入れ、入念に施工する。
 - ・はつり作業においては、振動が既設コンクリート・鉄筋に与える悪影響や、騒音が周辺環境に与える影響について十分留意し施工すること。
 - ・工事による河川内へのコンクリート塊落下を防ぐため、シート等で十分な養生を行うこと。
 - ・最小かぶり
「PAE系ポリマーセメントモルタルを用いたコンクリート構造物の補修・補強に関する設計・施工マニュアル(案)」を基に、以下に示す最小限必要なかぶりを確保すること。
- 最小かぶり=Max

a: 最外縁鉄筋の呼び径

b: 最大径の鉄筋の呼び径から最外縁鉄筋の呼び径を控除した値

c: 気中の場合9mm or 水中又は土中の場合17mm
- + 3mm (施工誤差)
- ・断面修復材料
無収縮ポリマーセメントモルタルとし、「表面保護工法 設計施工指針(案) [工法別マニュアル編] 平成17年土木学会」に示す断面修復材の規格を満足するものとする。

力 学 的 性 能	
要求性能	設計及び施工条件
圧縮強度	躯体コンクリートと同等な強度特性を有すること
付着強度	躯体コンクリートと一体となること (1.0N/mm2以上)

断面修復工(左官工法)断面積集計表

部材番号		幅 (m)	幅 (m)	深さ (m)	数量	単位	適用
左官工法 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理：有		0.050					
床版	床版01	1.300	0.150		0.1950	m2	①
		0.050	0.100		0.0050	m2	②
		0.550	0.100		0.0550	m2	③
		0.350	0.200		0.0700	m2	④
		0.450	0.300		0.1350	m2	⑤
		0.200	0.200		0.0400	m2	⑥
		0.200	0.300		0.0600	m2	⑦
		0.800	0.550		0.4400	m2	⑧
		0.150	0.150		0.0225	m2	⑨
		0.450	0.600		0.2700	m2	⑩
	床版02	0.950	0.420		0.3990	m2	⑪
		1.790	1.650		2.9535	m2	⑫
		0.300	0.190		0.0570	m2	⑬
		0.250	0.650		0.1625	m2	⑭
		0.200	0.190		0.0380	m2	⑮
		0.250	0.500		0.1250	m2	⑯
		0.150	0.200		0.0300	m2	⑰
		0.400	0.750		0.3000	m2	⑱
		0.150	0.200		0.0300	m2	⑲
		0.150	0.250		0.0375	m2	⑳
		0.500	1.600		0.8000	m2	㉑
		0.300	0.700		0.2100	m2	㉒
		0.200	0.200		0.0400	m2	㉓
		0.900	0.190		0.1710	m2	㉔
		0.150	0.200		0.0300	m2	㉕
		0.200	0.350		0.0700	m2	㉖
		0.450	0.700		0.3150	m2	㉗
		0.200	0.300		0.0600	m2	㉘
		0.200	0.300		0.0600	m2	㉙
		0.350	0.100		0.0350	m2	㉚
		0.500	0.510		0.2550	m2	㉛
		0.900	0.550		0.4950	m2	㉜
		0.200	0.700		0.1400	m2	㉝
		0.300	1.000		0.3000	m2	㉞
		0.400	1.200		0.4800	m2	㉟
		0.450	0.100		0.0450	m2	㊱
		0.150	0.300		0.0450	m2	㊲
		0.550	0.250		0.1375	m2	㊳
		0.400	0.400		0.1600	m2	㊴
		0.400	1.050		0.4200	m2	㊵
		0.400	0.570		0.2280	m2	㊶
		0.300	0.500		0.1500	m2	㊷
		0.600	1.100		0.6600	m2	㊸
		0.200	0.950		0.1900	m2	㊹
		0.300	0.150		0.0450	m2	㊺
		0.700	0.560		0.3920	m2	㊻
	床版03	0.050	0.100		0.0050	m2	㊼
		0.350	0.150		0.0525	m2	㊽
		0.550	0.500		0.2750	m2	㊾
		0.150	0.400		0.0600	m2	㊿
		0.100	0.150		0.0150	m2	㋀
		0.200	0.400		0.0800	m2	㋁
		0.200	0.250		0.0500	m2	㋂
		0.350	0.200		0.0700	m2	㋃
		0.150	0.150		0.0225	m2	㋄
		0.150	0.150		0.0225	m2	㋅
		0.050	0.150		0.0075	m2	㋆
		0.100	0.100		0.0100	m2	㋇
		0.100	0.100		0.0100	m2	㋈
		0.100	0.100		0.0100	m2	㋉
		0.200	0.400		0.0800	m2	㋊
		0.300	0.400		0.1200	m2	㋋
		0.100	0.250		0.0250	m2	㋌
橋台	A2橋台	0.150	0.150		0.0225	m2	㋍
		0.150	0.150		0.0225	m2	㋎
		0.200	0.300		0.0600	m2	㋏
		0.250	0.150		0.0375	m2	㋐
地覆	地覆02						
合計						12.4160	m2

断面修復工(左官工法)断面積集計表

部材番号		幅 (m)	幅 (m)	深さ (m)	数量	単位	適用	備考
左官工法 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理：無		0.010						
床版	床版01	0.300	0.150		0.0450	m2	①	
		0.150	0.300		0.0450	m2	②	
		0.800	0.100		0.0800	m2	③	
		0.300	0.550		0.1650	m2	④	
	床版02	0.200	0.550		0.1100	m2	⑤	
		0.800	0.050		0.0400	m2	⑥	
		0.450	0.350		0.1575	m2	⑦	
		0.200	0.200		0.0400	m2	⑧	
		0.750	0.650		0.4875	m2	⑨	
		0.500	0.350		0.1750	m2	⑩	
		0.300	0.190		0.0570	m2	⑪	
		0.350	0.850		0.2975	m2	⑫	
	床版03	0.100	0.450		0.0450	m2	⑬	
		0.250	0.150		0.0375	m2	⑭	
		0.800	0.100		0.0800	m2	⑮	
		0.300	0.500		0.1500	m2	⑯	
		2.500	0.550		1.3100	m2	⑰	補修干渉部控除
	合計					3.3220	m2	

- 注記
1. 断面修復工(左官工法)防錆処理:無の箇所について、はつり工において腐食鉄筋を確認した場合は、断面修復工(左官工法)防錆処理:有と同様に、鉄筋裏まではつりを実施し、防錆処理を実施すること。
 2. 断面修復厚は、それぞれ次のとおりとしている。
断面修復工(左官工法)防錆処理:有
断面修復厚 t=4cm
断面修復工(左官工法)防錆処理:無
断面修復厚 t=1cm

断面修復工(左官工法)集計表

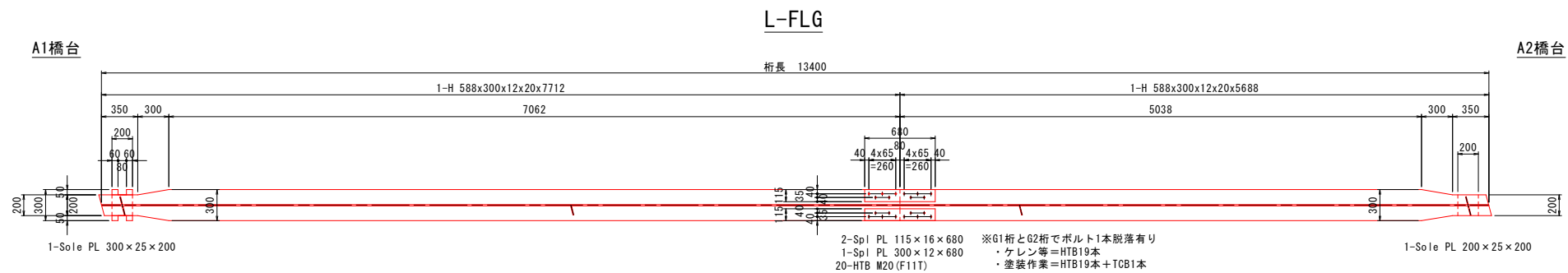
左官工法 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理：有	V = 0.621 m3 (設計数量)
左官工法 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理：無	V = 0.033 m3 (設計数量)

実施設計図面

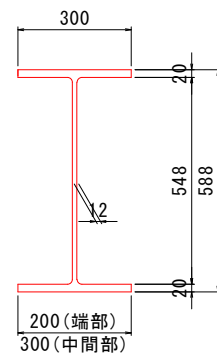
立川柳小屋橋			
工 事 名	令和8年度立川柳小屋橋橋梁修繕工事		
路線名等	勝浦郡勝浦町大字棚野他		
工事箇所	立川柳小屋橋		
図 面 名	補修詳細図(4/10)		
縮 尺	図 示	図面番号	6 / 14
会 社 名			
事業者名	勝浦町建設課		

(塗り替え塗装面積参考図)

U-FLG



H-588x300x12x20



- (注記)
1. 塗装替え塗装に関しては、鋼道路橋防食便覧（H26年3月）に基づき、Ro-1塗装系を使用すること。
 2. 集水域等は、I型ケレンして施工を実施すること。
防じん対策等を実施して上で施工を実施すること。
 3. 図中の寸法等は、現地調査に基づいても可であり、工事に際しては、現状状況を十分把握し、発注者の了承を得た上で施工を実施すること。
 4. 施工数量については、現地再確認を行った上、発注者の承諾を得て決定すること。
 5. 施工前に監督員と協議を実施し彩色等の確認を行うこと。
 6. 塗装替え塗装施工時には、環境対策資材及び安全衛生保護具を用いて、安全衛生に留意して施工を行うこと。
 7. ポルト付取付のTC8は、非常に少量であることから、本替り塗装系にて塗装を行うものとする。

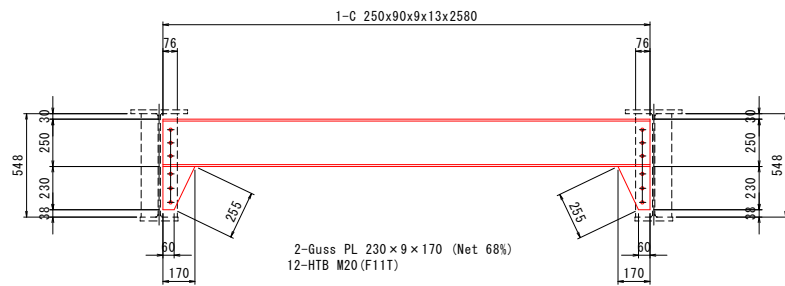
立川柳小屋橋

工 事 名	令和 8 年度立川柳小屋橋橋梁修繕工事		
路線名等	勝浦郡勝浦町大字棚野他		
工事箇所	立川柳小屋橋		
図 面 名	補修詳細図 (5/10)		
縮 尺	図 示	図面番号	7 / 14
会 社 名			
事業者名	勝浦町建設課		

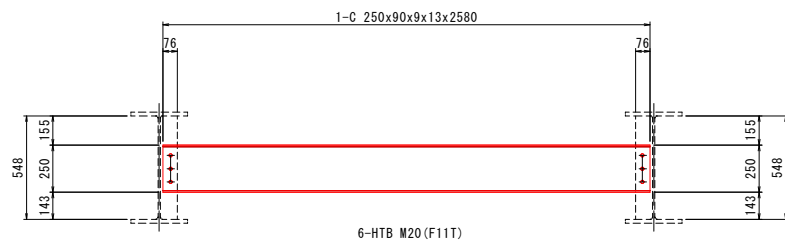
補修詳細図(6/10)

(塗り替え塗装面積参考図)

端横桁 S=1:20
(N=2箇所)

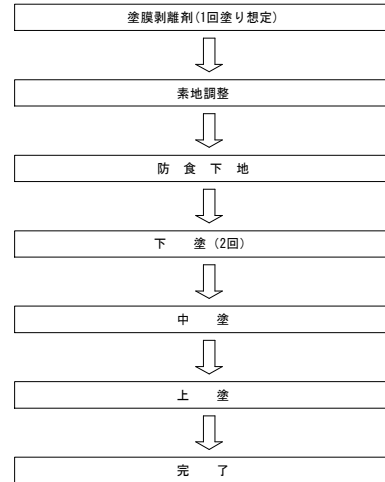


中間横桁 S=1:20
(N=2箇所)

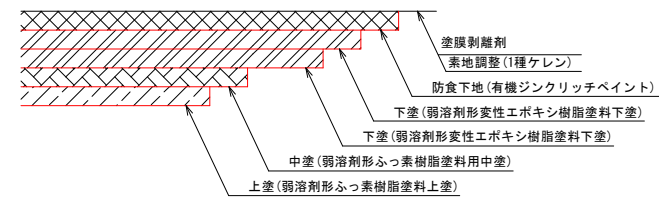


塗り替え塗装工

施工手順



塗装工程図



塗替え塗装(Ro-1)スプレー

塗装工程	素地調整工・塗料名称	使用量 (g/m2)	塗装間隔
塗膜剥離	塗膜剥離剤(1回塗り想定)	—	—
素地調整	1種ケレン	—	4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1日以上10日以内
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日以上10日以内
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日以上10日以内
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日以上10日以内
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日以上10日以内

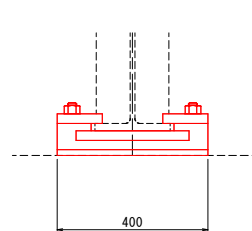
注記

- 本橋は、事前の塗膜調査により、鉛の含有を確認している。そのため、関係法令に従い従業員の安全管理および近隣の環境保全に配慮すること。
- 鋼部材塗装に関しては、鋼道路橋塗装防食便覧（H26年3月社団法人・日本道路協会）より、重防食塗装系を基本とし、Ro-1塗装系（スプレー）を使用すること。
- 塗膜剥離剤の既設塗膜への適応性を確認するための剥離試験を実施し、適切な塗膜剥離剤を選定すること。
- 施工数量については、現地再確認を行った上で、監督職員の承諾を得て決定すること。

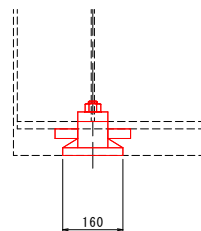
支承(線支承) S=1:10

A1橋台側支承(Fix) : N=2箇所

正面図



側面図

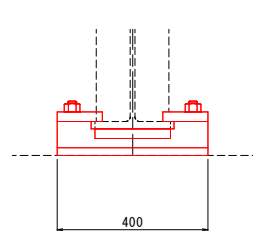


支承1個当たり塗装面積 : 0.15m2

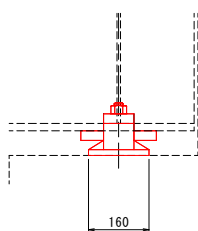
※架設当初メーカー設計資料を参考

A2橋台側支承(Mov) : N=2箇所

正面図



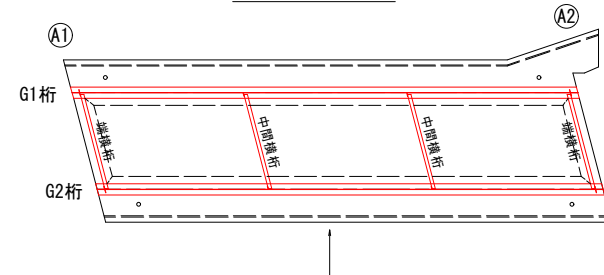
側面図



支承1個当たり塗装面積 : 0.15m2

※架設当初メーカー設計資料を参考

配置図 S=1:100



注記

- 塗替え塗装に関しては、鋼道路橋防食便覧（H26年3月）に基づき、Ro-1塗装系を使用すること。
- 素地調整は、1種ケレンで施工を実施する。防じん対策等を実施した上で施工を実施すること。
- 図中の寸法等は、現地調査等に基づくものであり、工事に際しては、現地状況を十分把握し、発注者の了承を得た上で施工を実施すること。
- 施工数量については、現地再確認を行った上、発注者の承諾を得て決定すること。
- 施工前に監督員と協議を実施し彩色等の確認を行うこと。
- 塗替え塗装工施工時は、環境対策資材及び安全衛生保護具を用いて、安全衛生に留意して施工を行うこと。
- ボルト取付工のTOBは、非常に少量であることから、本塗り替え塗装系にて塗装を行うものとする。

実施設計図面

工事名	令和8年度立川柳小屋橋橋梁修繕工事		
路線名等	勝浦郡勝浦町大字棚野他		
工事箇所	立川柳小屋橋		
図面名	補修詳細図(6/10)		
縮尺	図示	図面番号	8 / 14
会社名			
事業者名	勝浦町建設課		

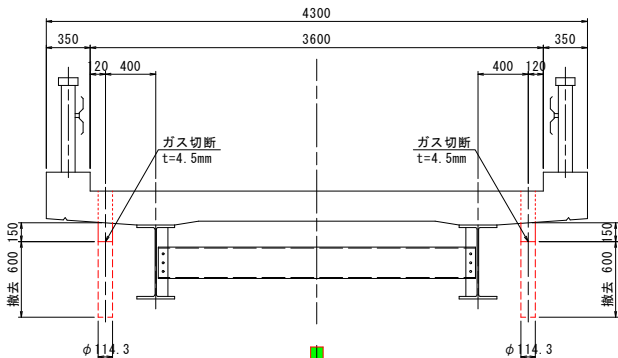
補修詳細図(7/10)

(排水管・支承補修工、ボルト取付工)

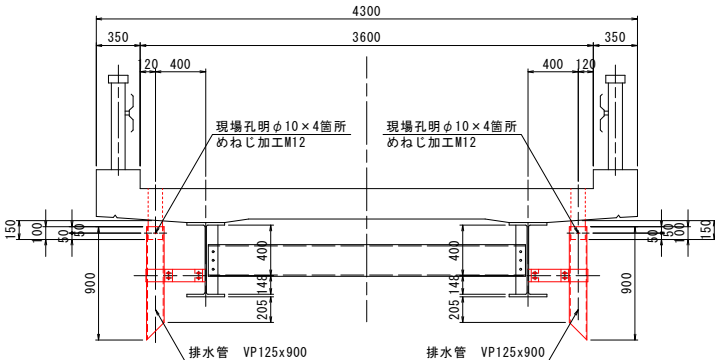
排水管取替工

(N=4箇所)

既設排水管撤去 S=1:30



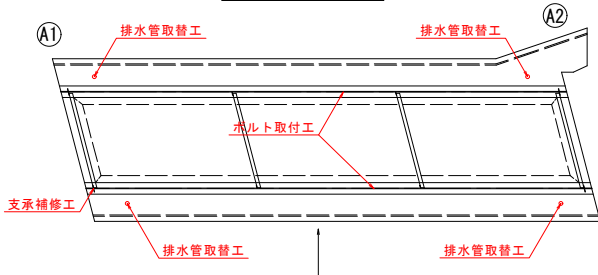
排水管取替工 S=1:30



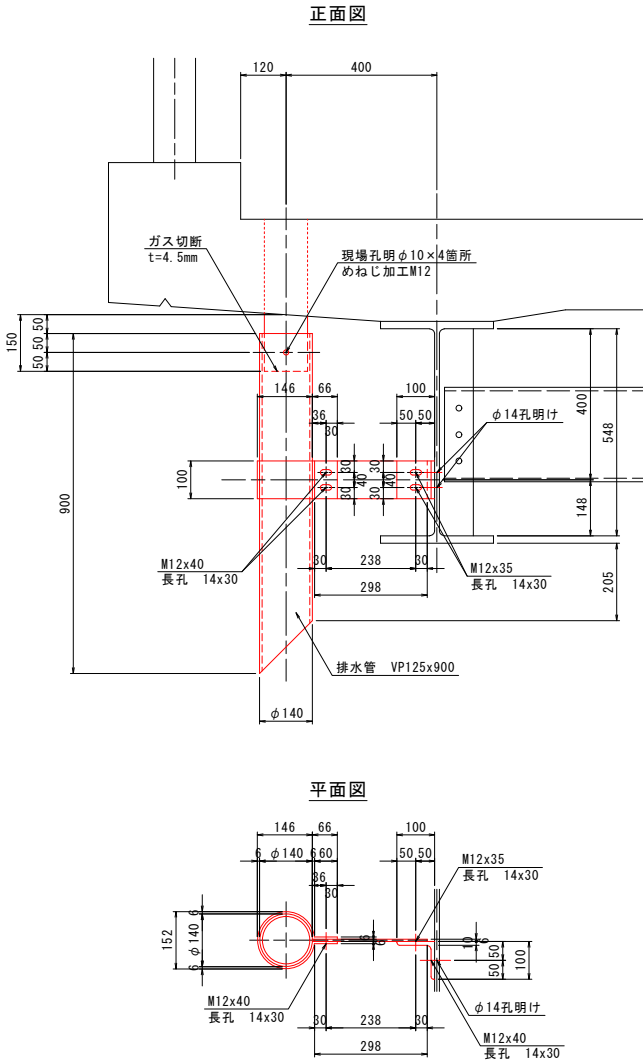
排水管撤去工 数量表				1箇所当たり
種別	規格	単位	数量	備考
ガス切断	t=4.5mm	m	0.36	ガス切断切削仕上げ工
鋼部材スクラップ	ヘビーH1	t	0.007	φ114.3x4.5、L=600

排水管設置工 数量表				1箇所当たり
種別	規格	単位	数量	備考
現場孔明	φ10、t=4.5mm	箇所	4	SS400相当、水平方向
排水管設置工	取付金具設置も含む	m	0.90	
取替部材材料		式	1	

配置図 S=1:100



取替詳細図 S=1:10



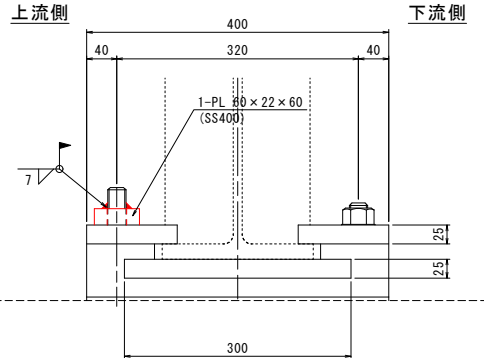
取替部材数量(1箇所当たり)

- 1-FB 100x6x573 (SS400) (垂鉛メッキHDZ50 : HDZT70)
- 1-FB 100x6x298 (SS400) (垂鉛メッキHDZ50 : HDZT70)
- 1- L 100x100x10x100 (SS400) (垂鉛メッキHDZ50 : HDZT70)
- 2-BN M12x35 (1W付) (垂鉛メッキHDZ35 : HDZT49)
- 4-BN M12x40 (1W付) (垂鉛メッキHDZ35 : HDZT49)
- 1-VP φ125x900

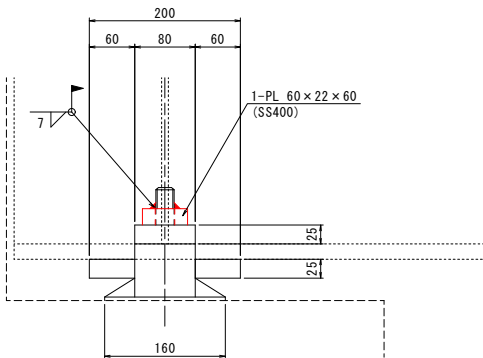
支承アンカーナット部補修工 S=1:5

固定沓(A1橋台) G1桁上流側のみ N=1箇所

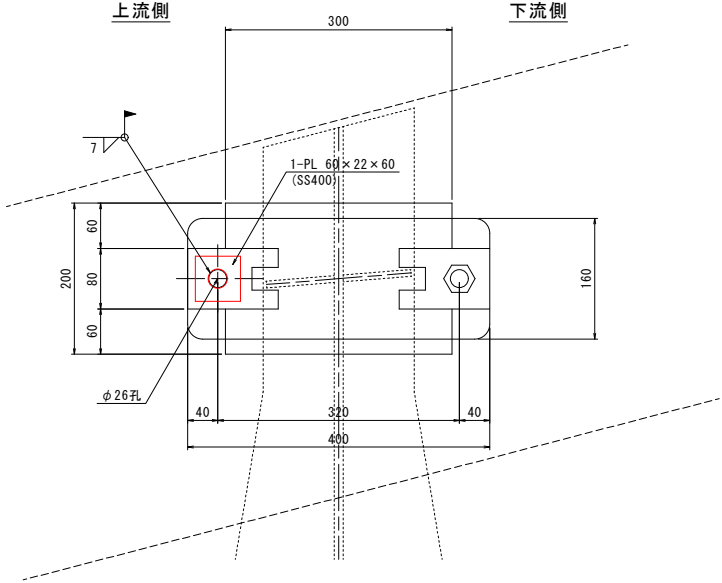
正面図



側面図

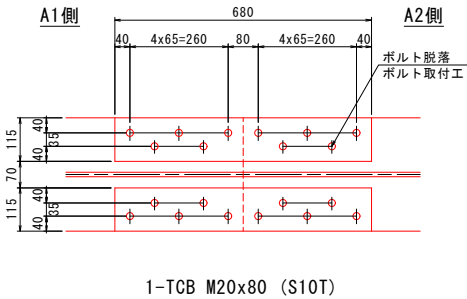


平面図

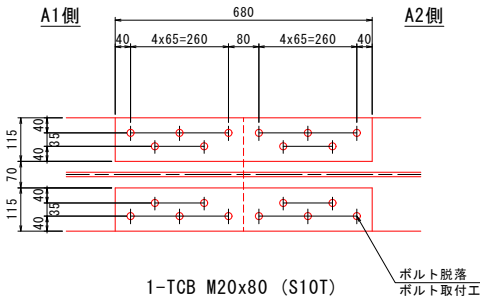


ボルト取付工 S=1:10

G1桁 下フランジ添接部



G2桁 下フランジ添接部



実施設計図面

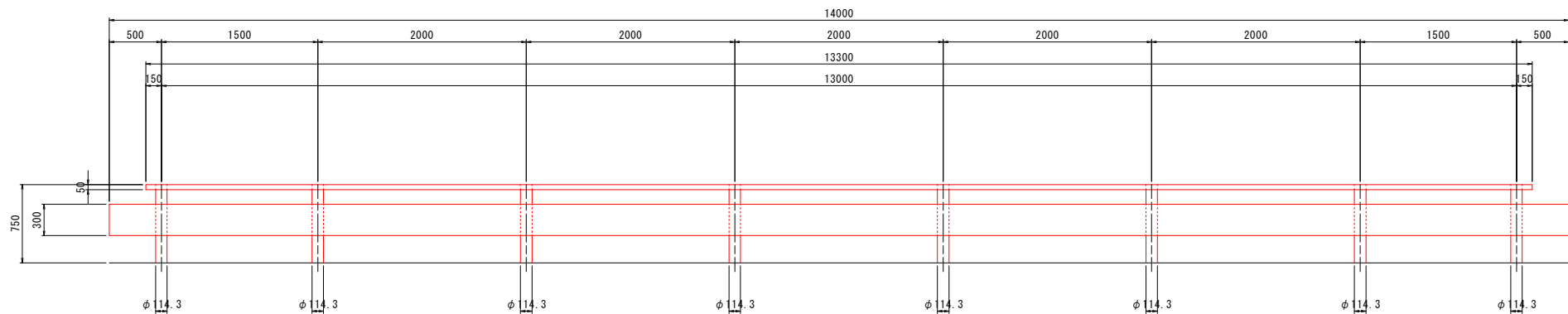
工 事 名	令和8年度立川柳小屋橋橋梁補修工事		
路線名等	勝浦郡勝浦町大字棚野他		
工事箇所	立川柳小屋橋		
図 面 名	補修詳細図(7/10)		
縮 尺	図 示	図面番号	9 / 14
会 社 名			
事業者名	勝浦町建設課		

補修詳細図(8/10)

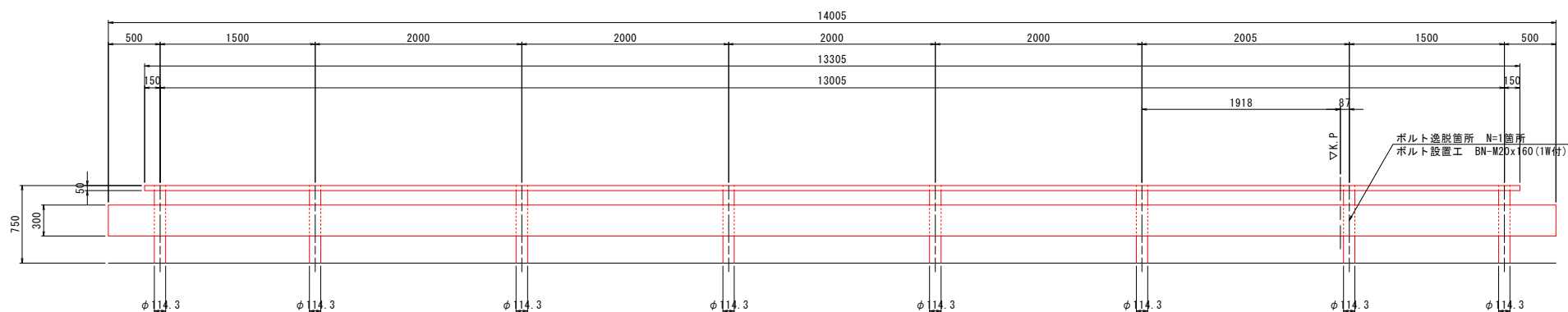
(防護柵塗り替え塗装面積参考図)

防護柵塗り替え塗装工形状図

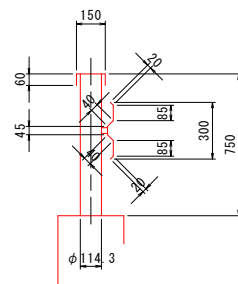
上流側 側面図 S=1:30



下流側 側面図 S=1:30



断面図 S=1:20



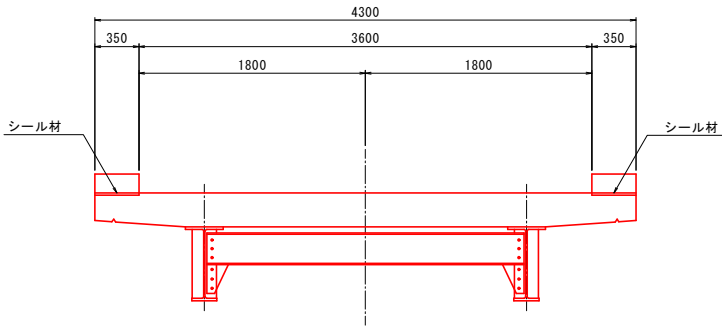
※防護柵の形状寸法は、現地計測によるものである。

実施設計図面

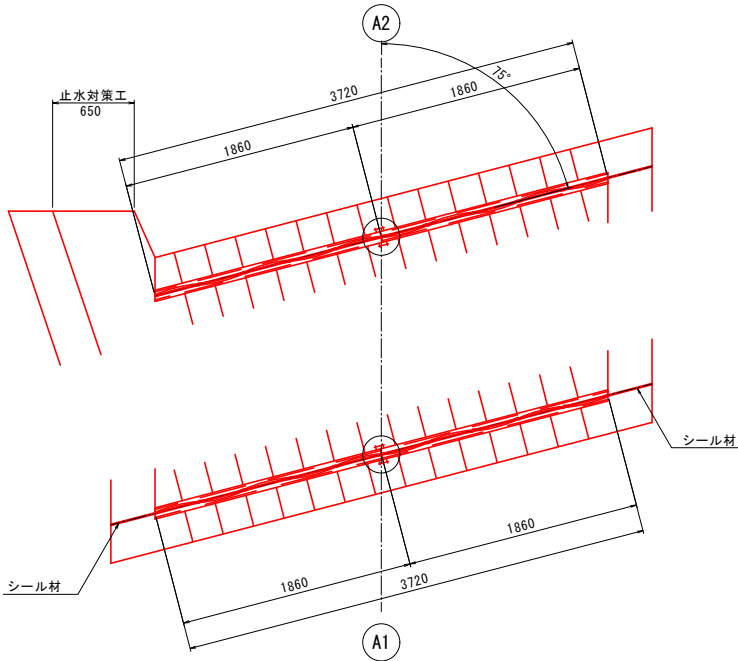
立川柳小屋橋			
工事名	令和8年度立川柳小屋橋橋梁修繕工事		
路線名等	勝浦郡勝浦町大字棚野他		
工事箇所	立川柳小屋橋		
図面名	補修詳細図(8/10)		
縮尺	図示	図面番号	10 / 14
会社名			
事業者名	勝浦町建設課		

補修詳細図(9/10)
(伸縮装置取替工)

断面図 S=1:30

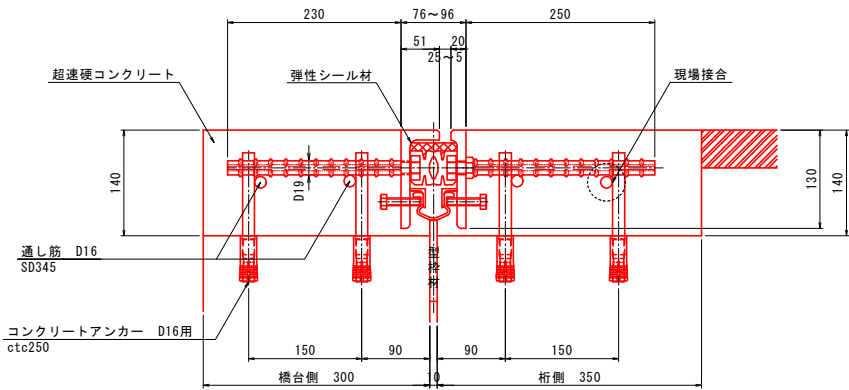


平面図 S=1:30



※○部は、バックキに接着剤を塗布し接合すること。
また、指定範囲に溶接を施すこと。

伸縮装置断面図 S=1:5
(プロフジョイントCDx型-20用(改)同等品)
車道部(二次止水構造)

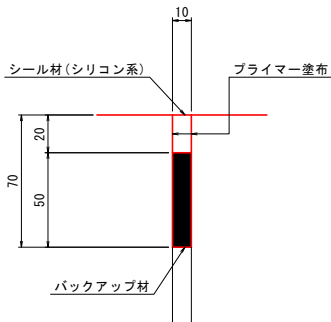


伸縮継手材料表

名 称	材 質	A1数量	A2数量	合計数量	備 考
プロフジョイントCDx型-20用(改)同等品	SS400 合成ゴム SD345 弾性シール材	3.720 m	3.720 m	7.440 m	車道用・二次止水構造
シール材	シリコン系	0.14 L	0.07 L	0.21 L	
超速硬コンクリート		0.339 m3	0.339 m3	0.678 m3	
通 し 筋	SD345	4 本	4 本	8 本	D16x3720
コンクリートアンカー		60 本	60 本	120 本	D16用
CDx型用接着剤	—	1 組	1 組	2 組	20用

※伸縮装置長さは、現地測量後決定のこと。
※既設ジョイント撤去時の床版コンクリート取り壊し作業は、残しておく床版コンクリートを破損させないよう、十分注意すること。

止水対策工 S=1:2

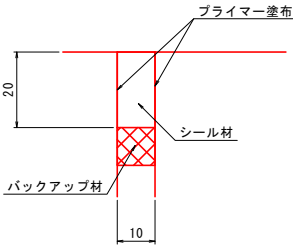


遊間部止水対策工数量表

名 称	材 質	数量	1m当り数量	備 考
シール材	シリコン系	0.20 L		
バックアップ材	ウレタンフォーム	0.50 L		

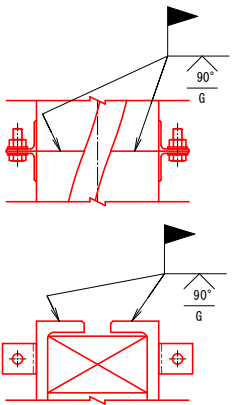
※施工前に現場状況及び寸法等の確認を行うこと。
※既設目地材等は部分的に切除すること。

シール材充填図 S=1:1

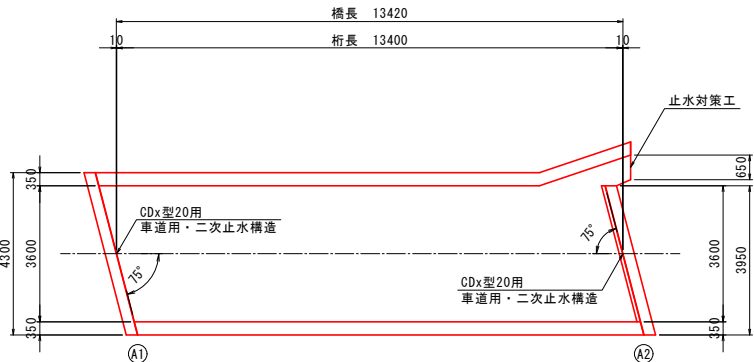


現場接合部詳細

プロフジョイントCDx型-20用(改)同等品



位置図 S=1:100



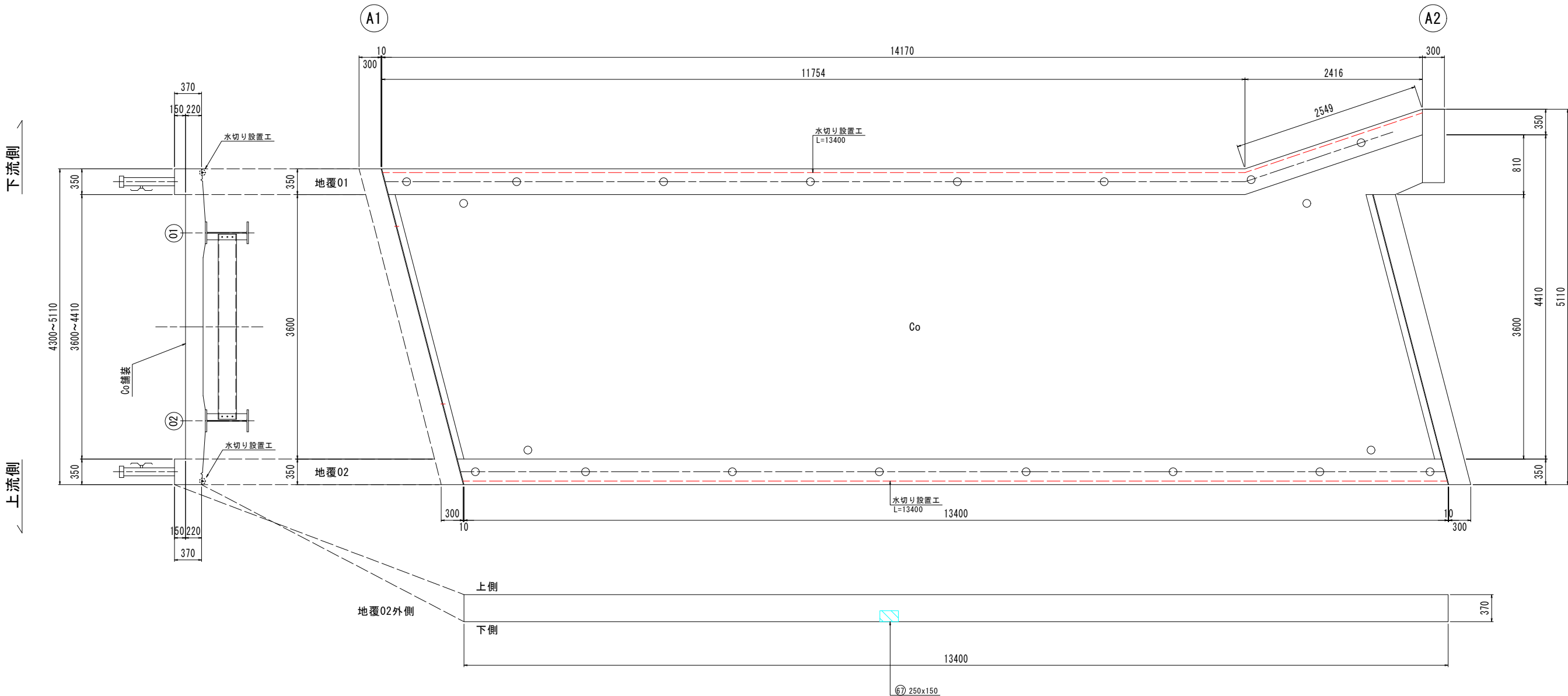
実施設計図面

工 事 名	令和8年度立川柳小屋橋橋梁修繕工事
路線名等	勝浦郡勝浦町大字棚野他
工事箇所	立川柳小屋橋
図 面 名	補修詳細図(9/10)
縮 尺	図 示
会 社 名	図面番号
事業者名	11 / 14
	勝浦町建設課

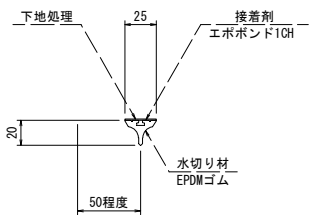
補修詳細図(10/10)
(水切り設置工)

橋面・地覆展開図 S=1:30

補修凡例		表示	備考
補修工法			
断面修復工(左官工法)防錆処理:有		縦×横 (mm)	うき

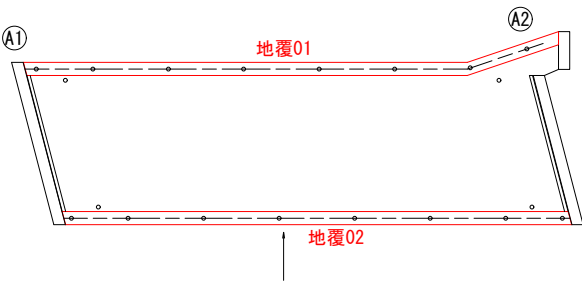


水切り設置工詳細図 S=1:3



水切り設置工数量表				(1橋当たり数量)
名称	規格	算式	数量	備考
水切り材	EPDM系ゴム	4.20×4	26.80 m	ウォーターカッター、同等品

配置図



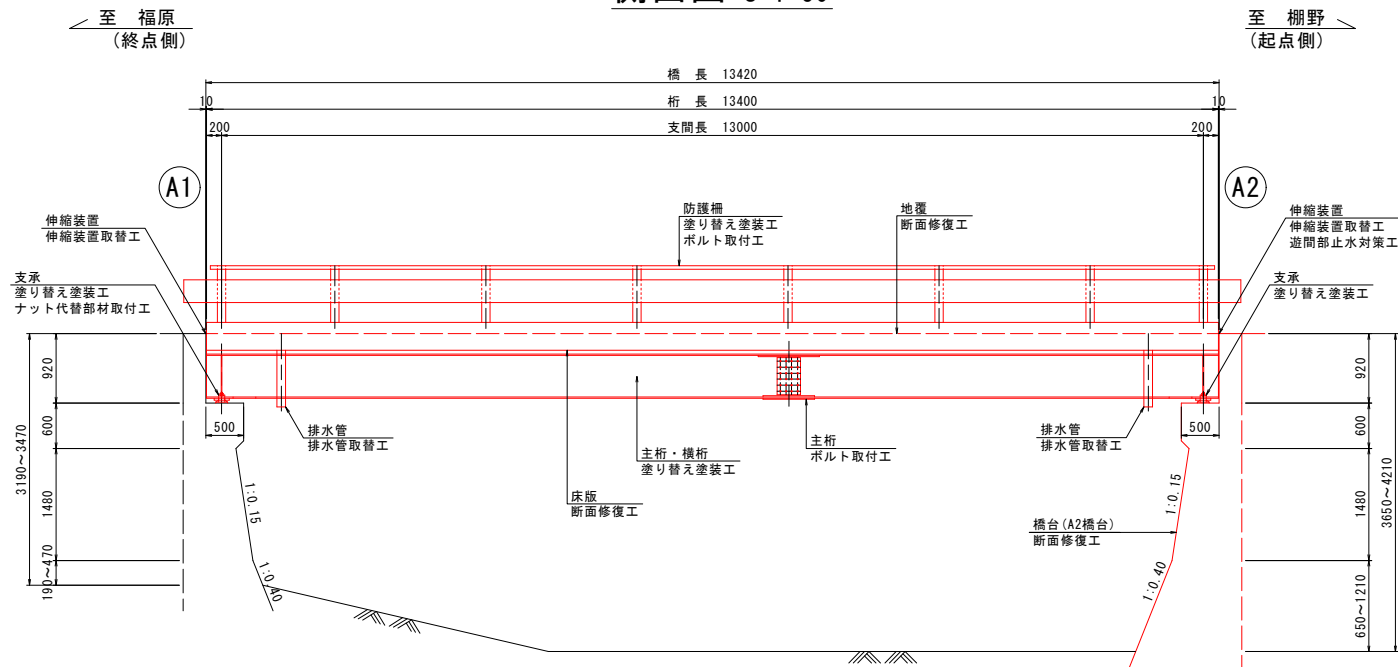
実施設計図面

立川柳小屋橋			
工事名	令和8年度立川柳小屋橋橋梁修繕工事		
路線名等	勝浦郡勝浦町大字棚野他		
工事箇所	立川柳小屋橋		
図面名	補修詳細図(10/10)		
縮尺	図示	図面番号	12 / 14
会社名			
事業者名	勝浦町建設課		

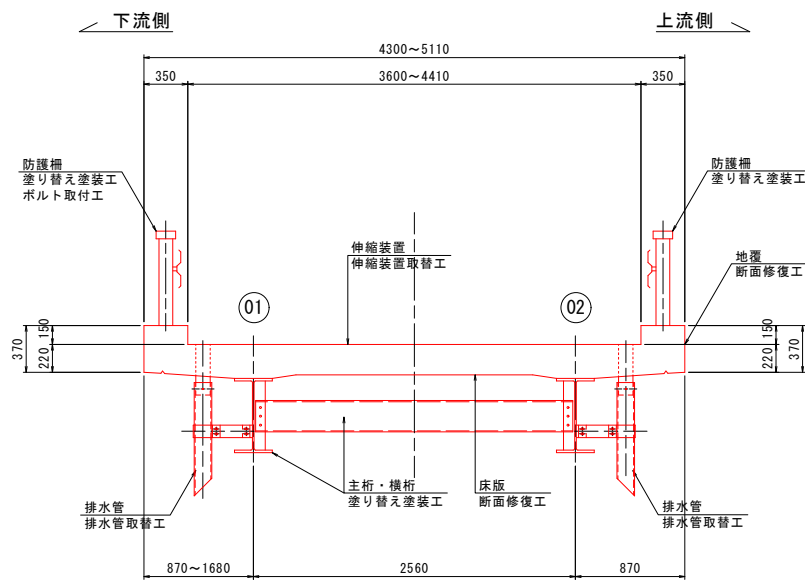
補修計画一般図

(取り合い部舗装工)

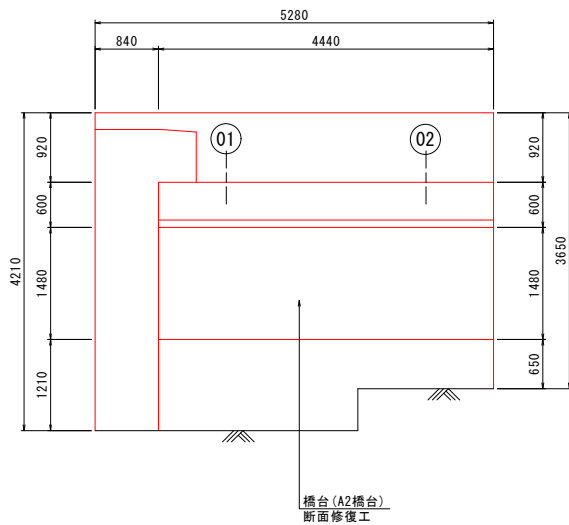
側面図 S=1:50



断面図 S=1:30

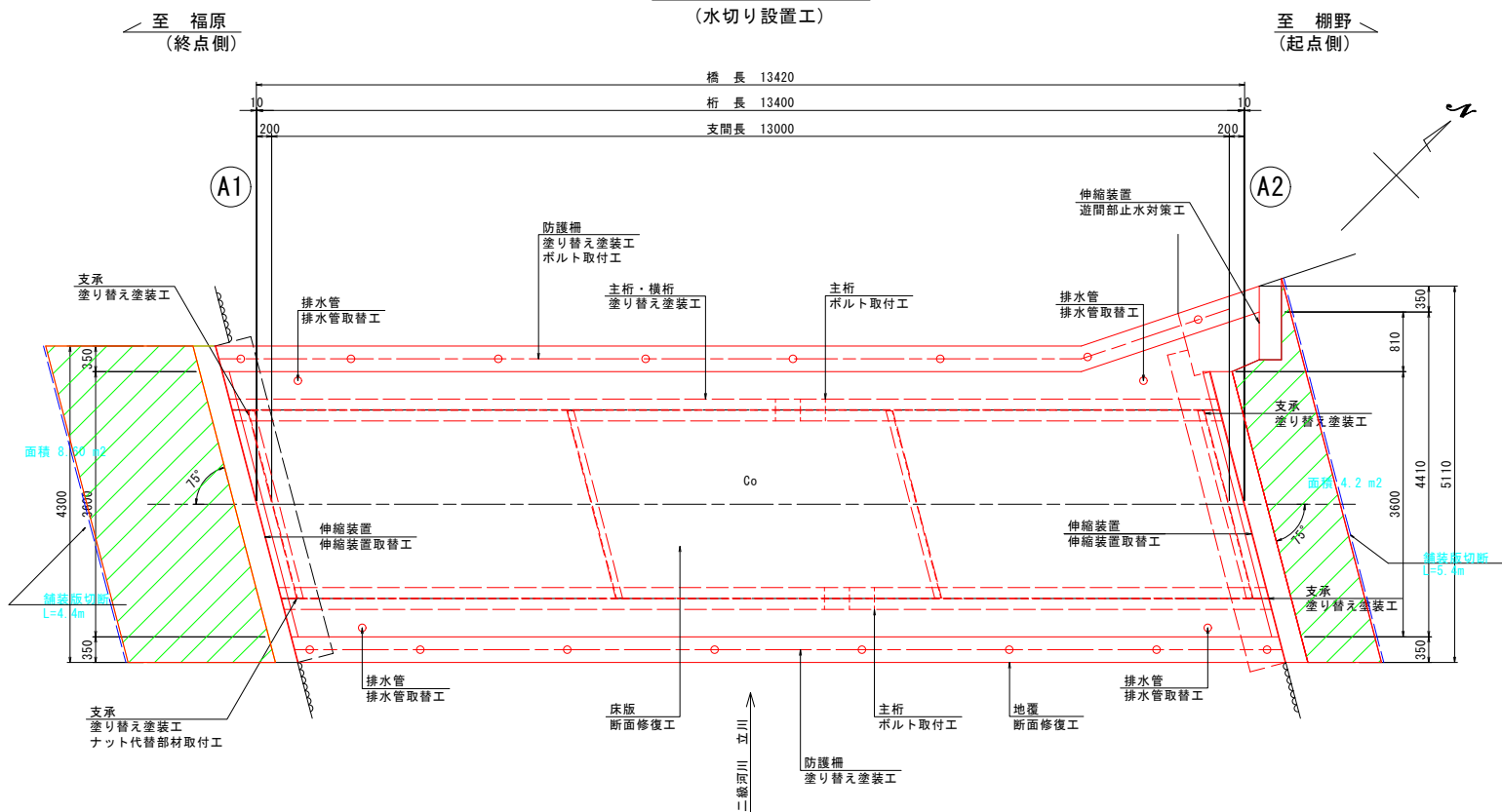


A2橋台正面図 S=1:50



平面図 S=1:50

(水切り設置工)



補修工法一覧			
部材	損傷状況	補修工法	備考
主桁・横桁	腐食・防食機能の劣化	塗り替え塗装工	Rc-I 塗装系、塗膜剥離剤+1種ケレン
	ボルト脱落	ボルト取付工	S10T相当、M22
床版	うき、剥離、鉄筋露出	断面修復工	左官工法
橋台 (A2橋台)	うき、鉄筋露出	断面修復工	左官工法
支承	腐食	塗り替え塗装工	Rc-I 塗装系、塗膜剥離剤+1種ケレン
	ナット喪失	ナット代替部材取付工	加工鋼板部材設置
伸縮装置	漏水	伸縮装置取替工、遊間部止水対策工	既製鋼製ジョイント：プロフジョイントCDx型同等品、シール材注入
排水管	腐食・欠損	排水管取替工	VP管
地覆	うき	断面修復工	左官工法
防護柵	腐食	塗り替え塗装工	道路付属構造物塗装工
	ボルト脱落	ボルト取付工	BN-M20x160 (1W付)

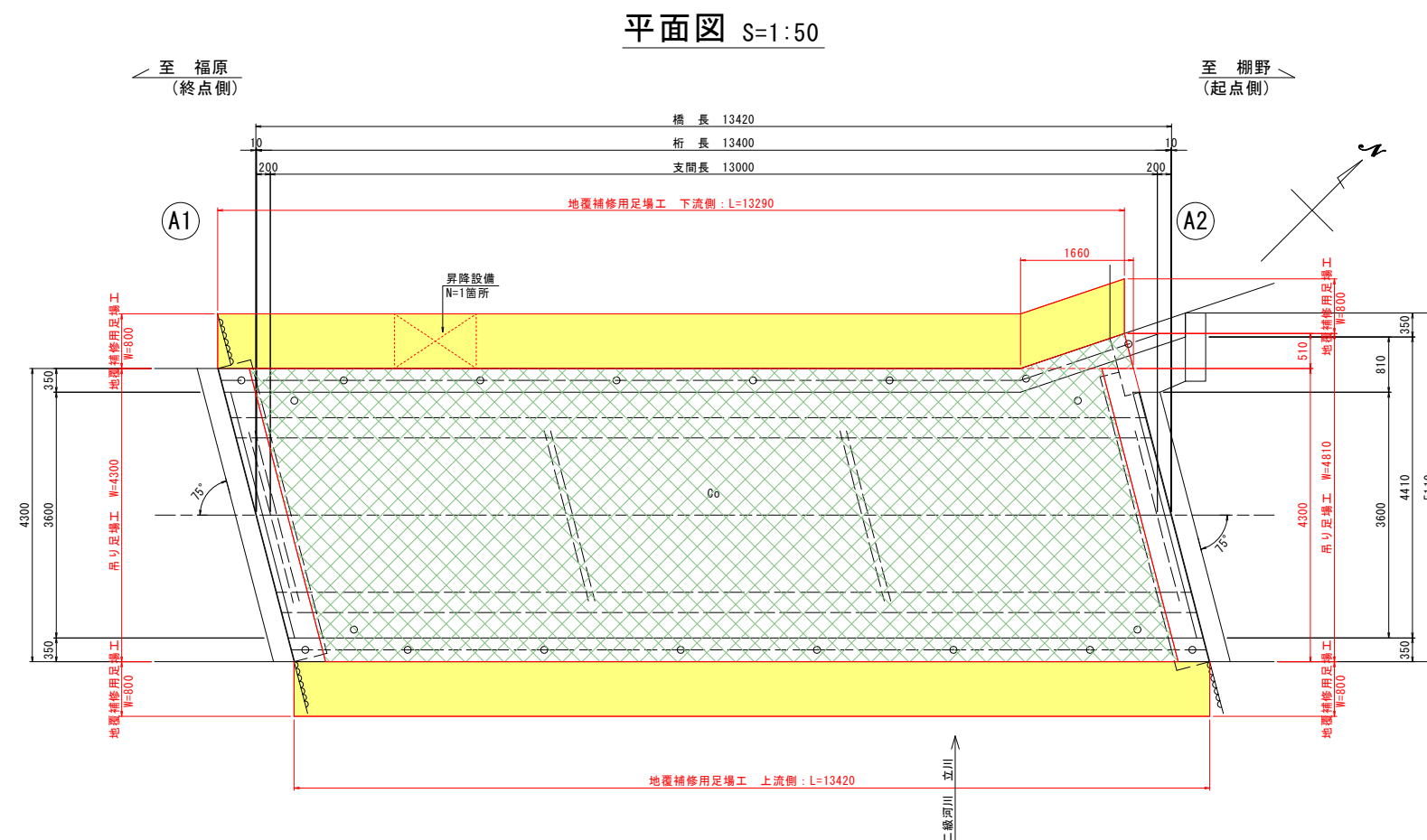
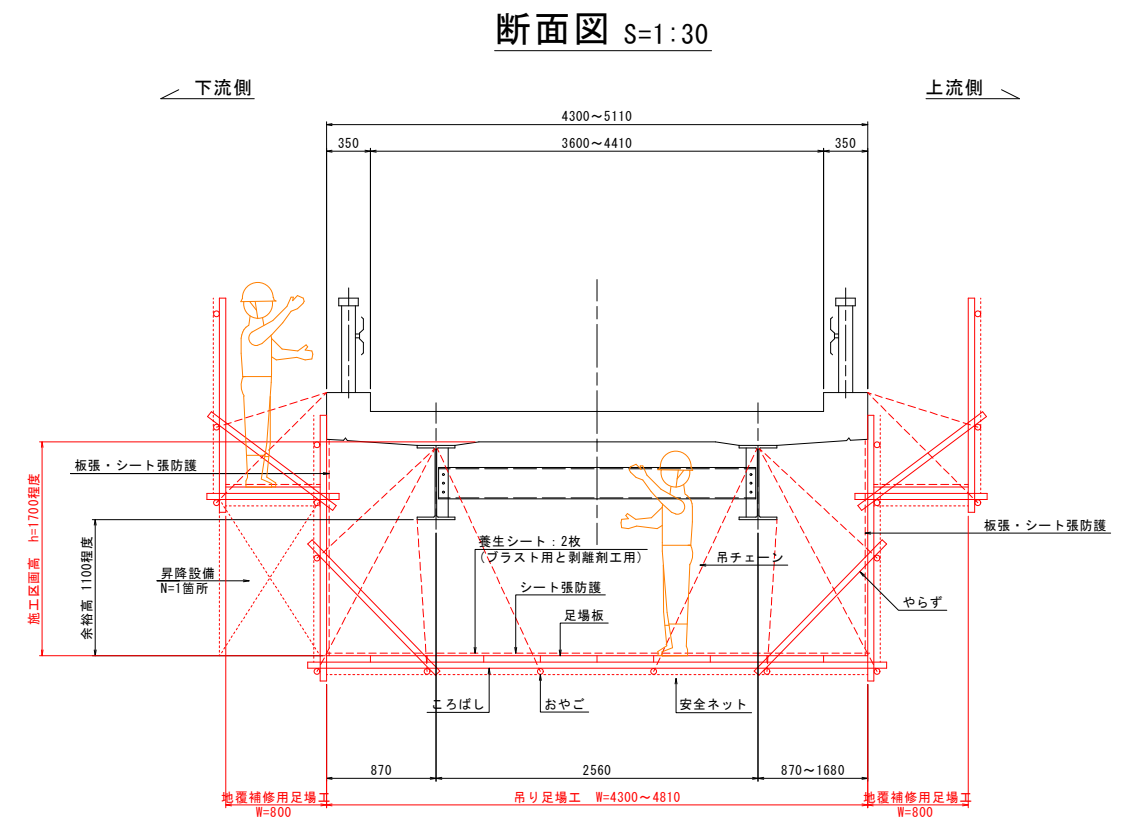
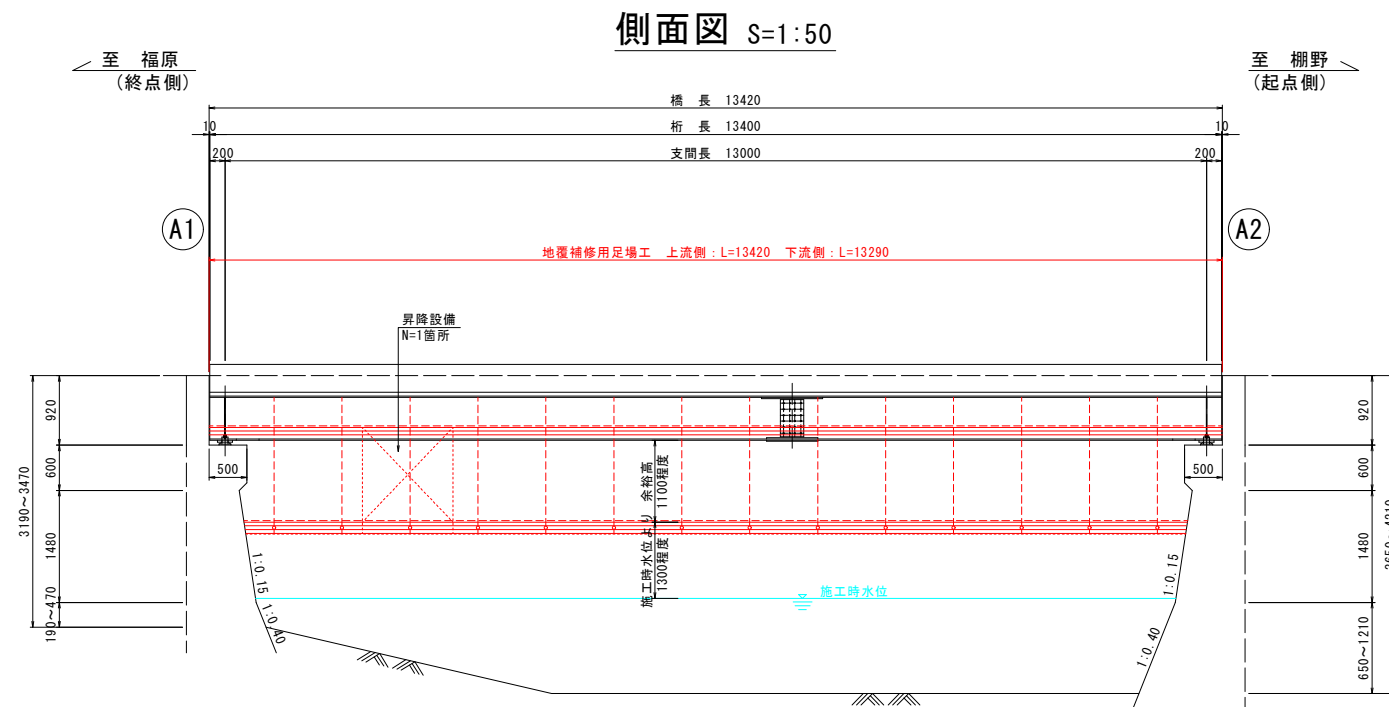
既設橋梁条件	
橋梁名	立川柳小屋橋
路線名	棚野立川線
上部工形式	単純支持鋼桁橋
下部工形式	重力式橋台
基礎形式	不明
設計荷重	不明
橋長	13.420m
桁長	13.400m
支間長	13.000m
幅員構成	0.350m+3.600m~4.410m+0.350m
曲線	R=∞ 直線
斜角	θ=75°
舗装	コンクリート舗装
竣工年	不明
適用示方書	不明

河川条件	
河川名	二級河川 勝浦川水系 立川
計画高流量	—
管理者	徳島県

実施設計図面

立川柳小屋橋	
工事名	令和8年度立川柳小屋橋橋梁修繕工事
路線名等	勝浦郡勝浦町大字棚野他
工事箇所	立川柳小屋橋
図面名	補修計画一般図
縮尺	図示
図面番号	13 / 14
会社名	
事業者名	勝浦町建設課

仮設要領図(案)



仮設工数量表

名称	規格	算式	数量	備考
吊り足場	H<1.5m	$4.300 \times 13.420 + 1/2 \times 1.660 \times 0.510$	58.13 m2	タイプA3
床面シート張防護工	防災シート	吊り足場と同量	58.13 m2	
朝顔		吊り足場と同量	58.13 m2	タイプB、両側
板張防護工		吊り足場と同量	58.13 m2	タイプB、朝顔部
シート張防護工	防災シート	吊り足場と同量	58.13 m2	タイプB、朝顔部
剥離剤工用養生シート	難燃性等	吊り足場と同量	58.13 m2	剥離剤作業1回想定のため1枚設置
プラスチック養生シート	難燃性等	吊り足場と同量	58.13 m2	プラスチック作業として1枚設置
地覆補修用足場工		$0.800 \times (13.420 + 13.290)$	21.37 m2	タイプE、シート+板張防護

※吊り足場の数量は、橋長×地覆外縁間距離としている。

実施設計図面

立川柳小屋橋			
工事名	令和8年度立川柳小屋橋橋梁修繕工事		
路線名等	勝浦郡勝浦町大字棚野地		
工事箇所	立川柳小屋橋		
図面名	仮設要領図(案)		
縮尺	図示	図面番号	14 / 14
会社名			
事業者名	勝浦町建設課		